

第9回 “共創” 自治協議会サミット

- ◆開催日時：令和4年10月17日（月）13:30～（12:30開場）
- ◆開催場所：福岡市立南市民センター
大ホール
- ◆主催：福岡市自治協議会等7区会長会，福岡市

第9回“共創”自治協議会サミットプログラム

(敬称略)

時間	プログラム
13:30	開会
13:35	自治貢献者・地域貢献企業感謝状贈呈式
14:00	<p>活動事例発表</p> <p>(早良区) コロナの中での絆づくり～新たな手法で深い絆を（室見探検隊・室見ワンDAYまつり・わんわんパトロール）～ 室見校区自治協議会 会長 片渕 輝昭 室見校区自治協議会 副会長 松澤 良江 室見校区自治協議会 副会長 鶴野 捷一 室見校区自治協議会 副会長 片山 富雄</p> <p>(西区) 新しいきみないと祭り～コロナからの再出発～ 壱岐南校区自治協議会 会長 新里 幸吉 壱岐南校区自治協議会 事務局長 吉岡 岩輝</p> <p>(東区) 全町内に1名以上の防災士を育成する 香住丘校区自治協議会 会長 山中 一男 香住丘校区自主防災会 事務局長 松田 元</p> <p>(博多区) コミュニティパーク事業により建設したパークハウスの活用 下月隈団地自治会 会長 山下 健児 下月隈団地自治会 事務局長 秋山 勇司</p> <p>(中央区) OZASAフェス～音楽、芸能文化を通して親睦を深め、活気ある街づくり～ 小笹校区自治協議会 会長 中野 裕史 小笹校区自治協議会 副会長 戸田 美子 小笹校区自治協議会 会計 大江 和子 小笹校区自治協議会 事務局 佐野 まりも</p> <p>(南区) ドローンを活用した総合防災訓練～空から見た 私たちの校区～ 柏原校区自治協議会 防災委員会 会長 石田 亘 柏原校区自治協議会 防災委員会 副会長 岩田 洸太郎</p> <p>(城南区) ～自分の命は自分で守る～自治会・町内会単位の防災研修会 七隈校区自治協議会 会長 菅 尚之 七隈校区自治協議会 会計 坂田 広紀</p>
15:30	閉会（予定）

福岡市自治貢献者感謝状贈呈対象者名簿

(敬称略)

特別感謝状

(東区)

東区自治組織会長会
(香椎下原校区自治協議会)

丸岡 良光

(早良区)

早良区自治協議会会長会
(小田部校区自治協議会)

松永マツエ

(西区)

西区自治協議会会長会
(姪浜校区自治協議会)

高木 柁彌

感謝状

(東区)

あすねつと香陵
城浜校区自治協議会
勝馬校区自治協議会
松島校区自治協議会
名島校区自治協議会
多々良校区自治協議会
箱崎校区自治協議会
西戸崎校区自治協議会
青葉校区自治協議会
舞松原校区自治協議会

井上 進
井上裕美子
蒲地 秀美
高橋 啓治
田中 友春
徳永 健一
箱嶋 次雄
山路 均
山本 佑治
雪野 和美

(博多区)

東光校区自治協議会
那珂校区自治協議会
弥生校区自治協議会
席田校区自治協議会
月隈校区自治協議会
東月隈校区自治協議会

有吉 与倉
川邊 哲
富岡 仁子
篠原 義彦
谷口 達美
松下 征雄

(中央区)

笹丘校区自治連合会

副田 茂喜

春吉校区自治協議会

平間 和俊

(南区)

弥永校区自治協議会

貞包健一郎

柏原校区自治協議会

新村 雅彦

塩原校区自治協議会

原口 學

東花畑校区自治協議会

村上 修治

三宅校区自治協議会

安田 敏幸

大楠校区自治協議会

行友ハルミ

老司校区自治協議会

吉田 康雄

(城南区)

南片江校区自治協議会

芦刈 昂治

(早良区)

有住校区自治協議会

太田 勝彦

飯倉校区自治協議会

大場 信孝

西新校区自治協議会

久我 隆雄

百道校区自治協議会

中野 敏彦

曲渕校区自治協議会

波呂 信義

内野校区自治協議会
原西校区自治協議会
原校区自治協議会
野芥校区自治協議会

深川 初弘
松岡 宏明
山崎 純裕
矢野 俊明

(西区)

壱岐校区自治協議会
壱岐南校区自治協議会
福重校区自治協議会
今津校区自治協議会
内浜校区自治協議会
西陵校区自治協議会
壱岐東自治協議会
能古校区自治協議会
元岡校区自治協議会

赤司 美信
石田 巖
黒土 時男
古藤 英俊
佐伯 利夫
角 博美
西 道夫
福田 唯夫
松浦 喬

地域活動貢献企業等感謝状贈呈対象者名簿

企業・団体名 (敬称略50音順)	推薦校区	主な活動内容
サニー 長丘店	南区 長丘	<ul style="list-style-type: none"> 校区献血事業の運営支援 (献血バス等への駐車スペース提供、トイレ開放、粗品預かりなど)
社会福祉法人 城南福社会 油山緑寿園	城南区 南片江	<ul style="list-style-type: none"> 自治協フェスタや運動会など校区行事の救護担当として職員を派遣 園で行われる秋祭りや花火大会に住民を招待
新生堂薬局 中尾店	南区 花畑	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の健康増進イベントへ管理栄養士など資格を有する社員を派遣 夏祭りや餅つき大会などの町内会行事へ社員を派遣
スターフィールド株式会社	早良区 小田部	<ul style="list-style-type: none"> 社協、自治協、民生児童委員とともに運営するカフェに自社の社会福祉士等を派遣、健康相談などを実施 子どもから高齢者までの参加型健康イベントを実施
セブンイレブン 長丘3丁目店	南区 長丘	<ul style="list-style-type: none"> 青パト車の鍵預かり 校区行事について、ポスター掲示・場所提供・トイレ開放 祭り終了後の会場清掃へ従業員を派遣
社会福祉法人 筑前早良福社会 愛信園	西区 金武	<ul style="list-style-type: none"> 敬老会の運営支援 (場所提供、準備、片付け、高齢者・障がい者介助など) 災害避難者の一時避難場所提供の申し出
国家公務員共済組合連合会 千早病院	東区 千早西	<ul style="list-style-type: none"> 校区の清掃活動に職員が毎年参加 健康教室に講師として職員を派遣

コロナの中での絆づくり ～新たな手法で深い絆を（室見探検隊・ 室見ワンDAYまつり・わんわんパトロール）～

早良区	室見校区自治協議会	会長	片淵	輝昭
早良区	室見校区自治協議会	副会長	松澤	良江
早良区	室見校区自治協議会	副会長	鶴野	捷一
早良区	室見校区自治協議会	副会長	片山	富雄

校区の概要

- ・ 室見校区は、幹線道路沿いに商業施設や公共施設が立ち並んでおり、地下鉄、バスと交通の利便性が高い閑静な住宅街である。
- ・ 校区の北側には郊外と都心をつなぐ主要幹線道路が、南北方向には藤崎から原、金武に至る「原通り」が、また、西側には室見川、校区の中央には金屑川が流れている。
- ・ 交通の利便性や身近に水辺空間もあり、転勤族からの人気が高く転入、転出などの人の流動が多い校区である。そのため夫婦と子どもだけという世帯が多い反面、昔から居住している高齢者のみの世帯も増えている。

【校区の概況】（令和4年6月末現在）

人口	世帯数	世帯当たり人員	65歳以上人口（割合）
11,878人	5,680世帯	2.1人	2,230人（18.8%）

活動について

1. 取り組み（活動）の概要

- (1) 「室見探検隊」
コロナ禍で密を避けながら、家族や友人と参加でき、自分のペースで好きな時間に地域の探検をする。歩くことで体力保持を、そして「室見あるある」で地域への愛着心向上を図る。
- (2) 「室見ワンDAYまつり」
校区民同士の、ふれ合う場が制限される中、密集にならぬ事業を、又、楽しい事業をとの思いから夏祭りに代わる行事として実施した。
- (3) 「わんわんパトロール」
急増している犬の散歩を活用したいと考えた。犬が主役で、お洒落に散歩しながら、地域の安全を見守ります。

2. 取り組み（活動）のきっかけ・経緯

- (1) 家族や友人との絆づくりに役立っていると好評の「ウォークラリー」は過密化防止のため延期していたが、多くの開催要望があり検討を重ねた結果、新しい形式の「室見探検隊」が生まれた。
- (2) 毎年実施し、校区住民のふれ合いの場として最適であった夏祭りが、コロナ禍の中では実施不可能なため、たとえ少人数であっても、家族や友人との歓談ができる機会をとの思いから、企画・立案した。
- (3) 公民館長との会話で「犬は家族同然、私の命」という話をヒントに、愛犬との散歩をまちのために有効活用できないか考え、企画した。

3. 取り組み（活動）で工夫した（している）点

- (1) コロナで引き籠りがちの校区民に対し、如何に運動してもらうか、又、頭の体操をしてもらうかに重点を置いた。参加を促す為、クイズ形式にし、賞品には、アイデアたっぷりの品物を準備した。特に参加賞の手作りカレーセット（じゃがいも、玉葱、カレールー）は非常に好評であった。クイズについては、「福岡市室見あるある」にして、郷土への思い入れや愛着心向上を狙った。
- (2) 参加費を徴収し、飲食物を提供するため、行政からの審査を受けた。保健所より、コロナ禍の中、このように感染防止及び食中毒の対策が完璧な事業計画は今年度初めてであり、是非完遂してほしい旨、おほめの言葉をいただいた。
- (3) 犬が主役なので、犬の名前や写真入りの証明書を発行し、かわいいパトロールグッズを支給する。活力と継続を期待し、お誕生日には、希望犬(?)にペットフードのチャオチュールをプレゼントしている。

4. 取り組み（活動）で苦勞した（している）点

- (2) ワンDAYまつりでは、参加者を時間で区切り（4パターン）
 - ・①16：00～16：50（50分） ②17：00～17：50（50分）
 - ・③18：00～18：50（50分） ④19：00～19：50（50分）※完全入れ替え制 ※各時間定員50名 ※事前申込制
※子どもだけの参加は不可
などとし、食べ物は個別にパックに入れて、そのまま取ってもらい、大人にも子どもにも喜ばれる種類を準備した。
 - ・食事をするテーブルにパーテーションを取り付け、又2m以上の間隔をあけるなど、密にならぬよう配置した。
 - ・感染防止を完全に履行するために、入れ替えの10分は、実行委員で消毒し、常に清潔な状態を保った。
- (3) わんわんパトロールでは、散歩に際し、腕章とバックを携行してもらうだけで、防犯効果があると思われるが、更に交通安全や危険個所チェックの役割も果たしてもらうための工夫にも議論を重ねた。愛犬の写真写りに、こだわりと注文が多いのにも驚かされた。

5. 取り組み（活動）の成果

- ・校区住民の大半が、転勤族で、しかも公民館には来た事がないという人達と、このようなイベントをきっかけに、顔を合わせる機会が増えた事が実感でき、嬉しく、又、大きな収穫であった。
- ・今まで、諦めかけていた転勤族の人達との絆づくりのヒントを得た事を今後の活動に活かしていきたい。

6. 今後の目標・課題

- ・地域活動が、古くからの住民、顔見知り、常連を中心として、維持されて来た事は、評価と肯定されるべきである。しかし、これからは、加えて、新たな参加者を迎え入れなければ、維持と発展は望めないという意識は、共有されている。
- ・転勤族の人達のニーズも加えた新しい活動に注力していく事、又、最近、当校区でも効果を上げているインターネットで、地域住民と繋がる事を更に進めていきたい。

皆さんにぜひ伝えたいこと

- ・日頃、私達の地域活動が効果を上げ、又、地域の人達から評価されるポイントの理由は、数多く挙げられます。我々、室見校区では、それらに加えて、まず、自分達が楽しむ事を大切にしていきます。すなわち、まず、私達が活動する事を楽しみ、その内容も自分達にとって楽しいかを基準にしています。そして、その前提として役員間のコミュニケーションと絆は、自慢です。

新しいきみないと祭り ～コロナ禍からの再出発～

西区 壱岐南校区自治協議会 会 長 新里 幸吉
西区 壱岐南校区自治協議会 事務局長 吉岡 岩輝

校区の概要

地下鉄七隈線橋本駅周辺から、西側にそびえる叶ヶ岳の中腹までのエリア内に、13自治会で構成、その内の九つの自治会が高台にあります。

また、高齢化率が35%を超え、今後も増加加速化の傾向にあります。

一方、七隈線の博多駅延伸や橋本駅西側の区画整理事業により、人口の増加をはじめ環境の変化に伴い、今後、地域の発展に期待が持てる校区です。

【校区の概況】（令和4年6月末現在）

人口	世帯数	世帯当たり人員	65歳以上人口（割合）
10,302人	4,636世帯	2.2人	3,816人（37.0%）

活動について

1. 取り組み（活動）の概要

地下鉄橋本車両基地内と周辺の室見川河畔において、光のオブジェ（竹を組んで作った大・小の三角垂テント）や、小学生・中学生・地元自治会が、ペットボトル・牛乳パックで作成したランタンを活用し、「光の地上絵」を誕生させるなど、光のオブジェ製作も回を重ねる毎に工夫を凝らしてきました。また、露店も地元地域の団体や作業所などが出店し、大行列が起るなど大盛況でした。

2. 取り組み（活動）のきっかけ・経緯

各町内の夏祭りが減少する中、「子どもたちの思いでづくりと校区住民の親交を深めるため」校区一体で取り組む祭りをしようとする有志が集ったのがこの祭りの第一歩です。早良区有田校区の「灯明まつり」を参考にさせていただき、イベントの狙いやイメージづくりの検討を重ね、「いきみないと祭り」と称し2006年に始まり2019年まで14回にわたり継続してきました。2020年はコロナ禍で中止としました。

3. 取り組み（活動）で工夫した（している）点

2021年は、コロナ禍での再開であることから、感染対策を講じながらできる祭りとして、次の項目を検討①祭りの規模、②露店の有無、③場所、④スタッフ、⑤開催時期と時間帯です。結果として、規模の縮小、飲食無しを基本に、子どもたちが通う壱岐南小学校南側道路前花壇を活用することで場所を決定。開催時期と時間帯は光がメインとなることから、夕暮れが早い秋ごろとして、従来の祭りと比べると超ミニミニの「いきみないと祭り」が復活しました。

4. 取り組み（活動）で苦労した（している）点

コロナ禍での再開であることをふまえ、地域全体の祭りとして新たな一歩を踏み出すことから、関係する各自治会・諸団体をはじめ、特に子どもとのかかわりが深い育成会、小・中PTAの理解と協力を取り付けること。さらには、祭り運営スタッフとしての活動従事への協力体制づくりや、祭り開催に伴う関係機関への働きかけに相当の時間を要したことです。

5. 取り組み（活動）の成果

コロナ禍以前に実施の祭りとはスケール・内容等も縮小したものであり、かつ露店の出店もない祭りでしたが、想像を超える人出(約500人)があり、特に親子での来場が多く見受けられたことに驚きと喜びを感じ、今後に向け工夫次第では賑わいが戻り、地域に活性を与える祭りができる期待が持てました。

6. 今後の目標・課題

新たな「いきみないと祭り」の完成と定着に向け、地域で作り上げていき、地域みんなで楽しむ祭りを目指したい。課題は、「ヤル気・協力・実践」と思われる。

皆さんにぜひ伝えたいこと

- 地域の伝統を継承していくことは容易いことではないと痛感しました。多くの方に支えられ成し得るものであることを忘れず、日々の日常において「絆」づくりに努めてみてはいかがでしょうか。

全景色



光のテント



竹灯籠



光の地上絵



中村三陽書道部



露店



露店



全町内に1名以上の防災士を育成する

東区 香住丘校区自治協議会 会長 山中 一男
東区 香住丘校区自主防災会 事務局長 松田 元

校区の概要

- 西側は、博多湾の最奥部にある和白干潟に面し、東側は歴史に登場する立花山があり、海と山の間には緑豊かな良好な住宅地が広がっている。
- 校区の中央をJR鹿児島本線、西鉄貝塚線が走っており、それぞれJR九産大前駅、西鉄香椎花園駅、唐の原駅が立地している。
- 校区内には、福岡女子大学、九州産業大学、香住丘高等学校があり、東区の文教地区のひとつであり、東区で2番目の人口規模の校区でもある。

【校区の概況】（令和4年6月末現在）

人口	世帯数	世帯当たり人員	65歳以上人口（割合）
18,388人	9,808世帯	1.9人	4,067人（22.1%）

活動について

1. 取り組み（活動）の概要

香住丘校区自主防災会は、27町内会から選出された1名以上の防災担当者及資格を取得した防災士の現在68名で組織されており、オブザーバーとして民生委員、消防分団等の4名を加えて、防災・減災を目指して活動している。

2. 取り組み（活動）のきっかけ・経緯

1998年（平成10年）10月に香住丘校区自治協議会で「香住丘校区自主防災組織」のあり方について検討が行われ、いつ起きるかわからない災害のためだけに作られる組織ではなく、地域の核としての「町内会連合組織」を中心に、社会福祉協議会などの既存のコミュニティー組織を生かした組織づくりが提案され、2001年（平成13年）7月に香住丘校区自主防災会が設立された。その後、自主防災会の方針で、各町内会に1名の防災士を置くこととなり、2014年に第10期 福岡市防災講座の博多あんあん塾受講後の資格取得者6名及びそれまでの防災士2名を加えた8名で、「香住丘防災士会」が誕生し、この防災士会の指導で町内会での防災計画の策定等が進んでいる。

3. 取り組み（活動）で工夫した（している）点

- 毎年校区防災訓練を実施（7年連続）
- 毎月第2火曜日、19時から香住丘防災士会定例会議開催
- 毎偶数月第4土曜日、15時から香住丘校区自主防災会役員会議開催
- 毎奇数月第3土曜日、18時から香住丘校区自主防災会担当者会議開催
- 公式LINEアカウントを活用して校区防災情報を発信

4. 取り組み（活動）で苦勞した（している）点

2014年以降、校区27町内会に1名以上の防災士を育成することを目標に各町内会に呼びかけているが、校区が求める現役世代の受講対象者は、仕事等の関係から制約があり人選に苦勞している。なお、受講者には自主防災会から交通費を支給、受講のための支援を行っている。

5. 取り組み（活動）の成果

2021年度までに、27町内会中14町内会に防災士が誕生し、残り13町内会が未達ではあるが、現在の香住丘防災士会の会員の24名が所属する町内会を含めてカバーし、町内会長や町内防災担当者と共に活動している。また、校区に避難所が開設される際には、自主防災会が主体となりテント等の設営を行っている。

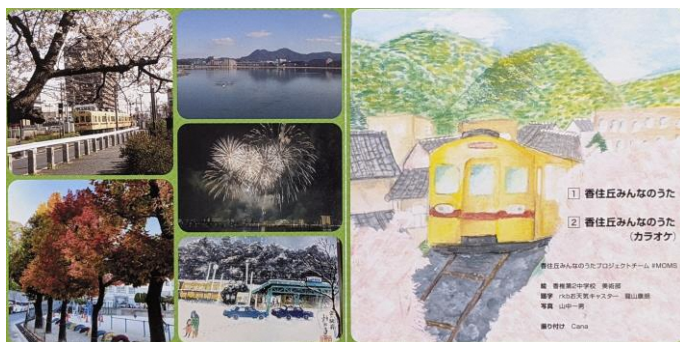
6. 今後の目標・課題

- ・ 残りの13町内会に防災士を育成する。
 - ・ 若い世代と女性の防災士を育成する。（現在女性防災士＝8名）
- 各町内会毎の各種の防災訓練の実施や訓練時のアドバイスを行う。

皆さんにぜひ伝えたいこと

- ・ 気候変動等の異常気象による自然災害が多発する中、2017年（平成29年）に校区住民に実施した防災・減災アンケートでの集計結果で判明した身近に感じる危険な災害の上位3つの地震、台風、豪雨への校区での取組状況、各家庭での日ごろからの備えの重要性の啓蒙、校区備蓄品の補充を進め、自助・共助の知識、体制を校区全体で強化して行きたい。

令和3年度に制作した「香住丘みんなのうた」のCDジャケット



定例会・研修会の様子



毎年開催している防災訓練の様子等

公式LINEアカウント



平成29年 香住丘小学校



令和元年 香椎第2中学校



令和元年 香椎第2中学校



今年の台風14号の際に設営したテント等

令和4年 香住丘公民館



令和4年 香椎第2中学校



コミュニティパーク事業により建設した パークハウスの活用

博多区 東月隈校区 下月隈団地自治会 会 長 山下 健児
博多区 東月隈校区 下月隈団地自治会 事務局長 秋山 勇司

校区の概要

東月隈校区は博多区の東南部に位置し志免町と接しています。

当校区は約50年前に丘陵地を宅地に開発しその当時から住まわれている方々が多く、高齢化率は42%（校区高齢化率は35%）を超えました。高齢者の中でも元気に活動されている方々もいますが、日々の生活に必要な買い物などができない高齢者が多くなっています。

【校区の概況】（令和4年6月末現在）

人口	世帯数	世帯当たり人員	65歳以上人口（割合）
8,072人	3,884世帯	2.1人	2,805人（34.7%）

活動について

1. 取り組み（活動）の概要

当自治会の中心部に位置する中央公園は、コミュニティパーク事業として低木の剪定、除草を行うとともに公園内にパークハウスを建設し、住民の交流の場として活用しています。また、自治会開設以来毎月一回、自宅前道路側溝の清掃とこれに併せ廃品回収を行い、老人会（常磐会）も公園の清掃を行っています。他に毎月二回の防犯パトロール（小学生下校時）をしながら、たばこの吸い殻などの回収をしています。なお、毎月自治会だよりを発行し、会員全員に（B5判）自治会活動の内容をお知らせしています。

2. 取り組み（活動）のきっかけ・経緯

下月隈団地自治会は昭和48年から集会所を所有し、自治会活動の会議やサークル活動に利用していましたが、高齢化が進み余暇を楽しむ高齢者が増え容易に集会所の利用が出来なくなりました。そこで第二集会所を公園に建設できないかという話を、福岡市の住宅都市局に相談しました。それがきっかけとなります。

3. 取り組み（活動）で工夫した（している）点

コミュニティパーク事業として公園を利用しながら住民同士の交流を図るのに、一人一花運動に参加し住民ボランティアと公園内の花壇で花を育てています。高齢者向けの買い物支援として月に2回公園で「なかよしマーケット（青空市）」を開催しています。今年6月から住民の交流を図るためパークハウスで「地域カフェ」を始めました。

4. 取り組み（活動）で苦労した（している）点

パークハウスの利用者の偏りがあり、できるだけ多くの人に利用をしてもらうためのイベントなど企画をしても、期待に添えない場合があります。

5. 取り組み（活動）の成果

最近、地域カフェが浸透し始め、“カフェで逢いましょう”を合言葉におしゃべりをしに来る男の人が少しずつ増え始め、自治会に関心があまりなかった人たちがカフェのお客として来るようになったのは良い傾向と考えられます。

6. 今後の目標・課題

住民の参加を促す魅力ある企画を考え、自治会活動への参加につながる活動を考えています。具体的には「スマホ教室」や「DIY教室」等住民の関心があることや、「茶道教室」や「観葉植物の育て方などの教室」のようなもの、お困りごとの相談や地域情報の共有などの生活にかかわる事などです。

皆さんにぜひ伝えたいこと

- すべての活動は人がかかわるのですが、さあ始めようとあまりに張り切ると息切れします。やはりボランティアはユルくユルくが長続きするコツの様な気がいたします。作業効率よりも楽しさを追求したほうが結果的に多くの人に参加してくれるんじゃないかと考えています。

公園愛護会



テープカット



高島市長視察



カフェ



OZASAフェス～音楽、芸能文化を通して 親睦を深め、活気ある街づくり～

中央区	小笹校区自治協議会	会 長	中野	裕史
中央区	小笹校区自治協議会	副会長	戸田	美子
中央区	小笹校区自治協議会	会 計	大江	和子
中央区	小笹校区自治協議会	事務局	佐野	まりも

校区の概要

小笹校区は、南は鴻巣山、北は南公園にはさまれた自然に恵まれた住宅地区である。昭和58年までは筑肥線の小笹駅が置かれ、朝晩多くの通勤客で賑わっていた。中央区の中でも特に自然に恵まれており、校区内には、動物園の南に隣接する植物園をはじめとして、公園や緑地が多く点在している。

【校区の概況】（令和4年6月末現在）

人口	世帯数	世帯当たり人員	65歳以上人口（割合）
14,675人	6,825世帯	2.2人	3,307人（22.5%）

活動について

1. 取り組み（活動）の概要

小笹校区にお住まいの方に音楽、芸能文化を通して親睦を深め楽しんでいただき、活気ある街づくりを目的に校区自治協議会、公民館、小中学校、民間（商店会）等が、一致協力して行うイベントである。

2. 取り組み（活動）のきっかけ・経緯

公民館、小中学校、保育園、地域で音楽活動をしている方々の発表の場を作ることが目的に、小笹商店会主催の「小笹コンサート」を令和元年度まで8年間開催していたが、新型コロナで中止していた。そこで、今回は自治協議会的主催で校区の文化祭として開催することとした。

3. 取り組み（活動）で工夫した（している）点

会場を小笹商店会の会員でもある葬儀場の「福岡草苑」で開催することとしたが、葬儀が行われることが少ない友引の日を開催日とした。

4. 取り組み（活動）で苦労した（している）点

出演希望が多数あったため、出演者の選定に苦慮した。また、新型コロナ対策に気を配りながらの開催にも苦労した。

5. 取り組み（活動）の成果

2年間のコロナ自粛で、発表機会を失っていた出演者たちが、今回のOZASAフェスが開催されたことで、非常に喜ばれ、楽しんでもらえた。特にこども達にとって良かったと思う。

6. 今後の目標・課題

自治協議会、公民館、学校、商店会が協力して、地域の音楽・文化イベントとして定着させたい。

皆さんにぜひ伝えたいこと

- 小笹校区を高齢者に優しく、こどもの安全安心、住みつづけたいと思える楽しい街にするべく、OZASAフェスを続けていきたい。



小笹の街並み



OZASAフェスの会場

オープニング 平尾中学校吹奏楽部



観客席の様子



ギター、ウクレレの演奏



小笹音頭



ロビーでの射的ゲーム



OZASAフェスポスター

小笹校区の文化祭を開催します!

OZASA (Vol.1) フェス

とき 2022年6月26日(日)
(11:00開場)12:00開演16:00終了予定

ところ 福岡草苑 大ホール,他(平和3-1-5)

サークル展示
コーヒー船熊チェリーの自家焙煎コーヒー
フルディックウォーキング
OZASAによるアロマスプレー販売

ステージ発表
公民館や地域で音楽活動をされている方の演奏、歌、ダンスなど

食事コーナー
ローストビーフ丼やクレープのキッチンカーも来るよ!

ゲームコーナー
的あてなどの子ども向けゲーム

最後のお楽しみ!
じゃんけんゲーム!
景品がもらえる!

※内容については変更される場合もあります ※掲載の写真はイメージです
※駐車場台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください

主催：OZASAフェス実行委員会
共催：小笹校区自治協議会・小笹公民館
協賛：福岡草苑・小笹商店会

じゃんけんゲーム



ドローンを活用した総合防災訓練 ～空から見た 私たちの校区～

南区 柏原校区自治協議会 防災委員会 会長 石田 亘
南区 柏原校区自治協議会 防災委員会 副会長 岩田 洸太郎

校区の概要

- 油山（597m）のすそ野に広がる閑静な住宅地の校区である。面積（6.64Km²）は南区内で一番広く、山間部の面積が広く、人口密度は最も低くなっている。
- 平成26年3月に指定された土砂災害警戒区域等の箇所が、南区で一番多い校区となっている
- 福岡大学と連携した歴史講座、発掘・測量調査などユニークな公民館活動が行われている。

【校区の概況】（令和4年6月末現在）

人口	世帯数	世帯当たり人員	65歳以上人口（割合）
9,222人	4,031世帯	2.3人	2,758人（29.9%）

活動について

1. 取り組み（活動）の概要

ドローンにて柏原3丁目の山肌、柏陵高校の裏山、柏原6丁目砂防ダム等、校区内を上空から実際に視認することで、危険箇所の確認及び防災意識の向上を目的として実施。

2. 取り組み（活動）のきっかけ・経緯

地域の地形の特性を考慮した、高齢化に伴う実態に応じた防災の取り組み、また危険箇所についての情報共有等を視野に入れた防災の取り組みの必要性を感じていた。通常視認不可の箇所を視認するのにドローンによる撮影が有効であると考えたもの。

3. 取り組み（活動）で工夫した（している）点

撮影後、防災士の資格所有者等による地域地形の現状及び危険個所の説明等の講習を行い、撮影映像及び講習映像をDVDとして各町内会自治会に配布し、また自治協議会HPに掲載し、広く閲覧可能とした。

4. 取り組み（活動）で苦労した（している）点

撮影可能な事業者の選定、ドローンを飛行させるにあたっての法的規制のクリア、ドローンへの電波中継点の設置等、防災委員会を中心として、事業者と共に一つ一つ解決していく必要があった。

5. 取り組み（活動）の成果

地域のハザードマップに指定されている箇所現状を視認出来たことによる防災意識の向上が図られた。また事業者代表より他区の自主防災組織の取り組みとして、避難場所に校区のコンビニや企業にお願いしているという事例があると聞き、今後の自主防災の参考にしたいと思った。

6. 今後の目標・課題

今回確認された危険箇所等について、地域で共有し、減災に繋げていきたい。また防災に限らず、河川環境の保全によるホタル等の生態系地形を守ることに繋げられたら良いと思っている。しかしながら、現在の状況は、あくまで撮影時のものであり、定期的に確認する必要があると感じている。今回の成果については、行政にも情報提供すると共に、指摘のあった箇所の補修も含めて、今後の対応を相談させていただきたい。

皆さんにぜひ伝えたいこと

- 今回の取り組みについては、校区の危険箇所等を地域住民で、改めて共有し、防災意識の向上を目的に実施した。今回の取り組みを初めの1歩として、行政・地域企業又は学校と共に、共創して持続可能な地域防災及び環境保全に繋げていきたい。

～自分の命は自分で守る～

自治会・町内会単位の防災研修会

城南区 七隈校区自治協議会 会長 菅 尚之
城南区 七隈校区自治協議会 会計 坂田 広紀

校区の概要

城南区の西端にあり、南は油山に接し、油山川、七隈川が南北に流れている。福岡大学や西南湖畔の森運動公園などがある緑豊かな地域である。

また、校区内には地下鉄七隈線3駅を有し、令和4年4月に城南警察署が開庁した。自治協議会は、約7,000世帯、11の自治会・町内会で構成されている。

【校区の概況】（令和4年6月末現在）

人口	世帯数	世帯当たり人員	65歳以上人口（割合）
13,357人	7,144世帯	1.9人	3,252人（24.3%）

活動について

1. 取り組み（活動）の概要

校区の防災、減災に対する基本的な考えとして「自助（自分の命は自分で守る）」が最重要であることを校区住民に認識してもらい、避難行動のために必要な知識を研修により習得し、気象情報や警戒情報から「自分の避難行動を如何にすべきか」という判断力・行動力を向上させる。

2. 取り組み（活動）のきっかけ・経緯

過去には、校区防災研修会や訓練は共助に関連するものが多かった。毎年のように豪雨災害等が発生し、その被害は甚大化している中で、防災・減災の考え方は「地域防災」も重要ではあるが、より具体的な「個人防災」に代わってきているように思われ、個人の防災力向上を目指すこととした。

3. 取り組み（活動）で工夫した（している）点

校区全体でなく、各自治会・町内会別に住民を対象とした研修会を実施。地域消防分団へ研修講師を依頼し、体験談や近年の災害実例映像・写真などの災害の姿を見せることにより防災・減災の重要性を認識してもらった。消防分団員にも参加を依頼し、町内との交流を図った。

4. 取り組み（活動）で苦労した（している）点

想定される災害は、山や川に接した場所、高台など各自治会・町内会の事情により異なってくる。主たる災害が一律ではない各自治会・町内会と事前に打ち合わせ、それぞれの町内の状況に合わせた資料を消防分団・自治協が協議の上作成した。

5. 取り組み（活動）の成果

各自治会・町内会の住民に避難の遅れが重大な結果をもたらすことや、的確な状況判断のための「マイタイムライン」・「避難スイッチ」の重要性を認識してもらった。

地震は予測できないが、怖さの自覚と転倒防止対策等事前準備により、減災が可能であると理解してもらった。

6. 今後の目標・課題

個人防災力と地域防災力の相乗的向上

①各自治会・町内会単位での、定期的な防災研修・訓練の継続

②自助の研修を踏まえた上で町内の「共助」の態勢づくり

③町内危険箇所を特定したうえでの個人の避難計画作成

皆さんにぜひ伝えたいこと

- 『自分の命は自分で守る』ために、「マイタイムライン」・「避難スイッチ」等自助行動研修・訓練は、校区単位ではなく、各自治会・町内会住民を対象に行い、各自治会・町内会で個々人に広めていくことが、「個人の防災力」向上に繋がっていくものと考えます。

研修の様子 みんな真剣です。



研修の内容は・・・地域の状況に応じて変わります。
官公庁や被災地の写真など現状を理解するための資料が満載です。（一部抜粋）

七隈校区・各町内会（令和4年度）

防災研修会

～風水害（土砂災害）から身を守る～

早良消防団 城南分団

本日のお話しの概要

- 1 防災情報について
 - ・防災気象情報
 - ・気象庁「キキクル」の活用
- 2 災害のイメージを再確認
 - ・過去の水害
 - ・台風とマイタイムライン
- 3 安全な避難について
 - ・避難スイッチ

七隈校区・各町内会（令和4年度）

防災研修会

～地震への備えを考える～

早良消防団 城南分団

本日のお話しの概要

- 1 地震のイメージを再確認
 - ①地震のメカニズム
 - ②過去の災害事例
- 2 福岡で想定される地震
 - ①警固断層の被害想定
- 3 防災上の課題とその対応策



最後に中国の故事を紹介します!

✓備えあれば憂いなし

- **居安思危** (安きに居りて危きを思う)
- **思則有備** (思えばすなわち備えあり)
- **有備無患** (備えあれば患い無し)

コミュニティ通信は、地域の様々な取組みを紹介し、皆様に「コミュニティや地域活動にもっと興味を持っていただきたい」、「身近に感じていただきたい」。そんな思いを反映して、発行しています。

今回は、「コロナに負けない!地域を元気に!」をテーマに、地域活動に制約がかかる中でも、3密を避けるなどの感染症対策を講じ、さまざまな工夫をしながら活動する校区をご紹介します。

東区

舞松原校区

校区に元気を!お月見会の開催

屋外で、密にならず、マスクは外さずにできること、そして校区に元気を!と考え、急遽企画し10月に開催した「お月見会」。準備・周知期間とも短かったにもかかわらず、450名もの方が集まってくれました。

公民館の目の前が公園という立地を生かし、公民館の駐車場エリアでは、篠笛の演奏会。公園では、中央にお供え団子を飾り、その周りで青育部会が子どもたちにヨーヨーを配ったり、環境・交通安全の各部会が啓発活動を行ったりしました。きれいな月を眺めながら楽しむ、素敵な秋の一夜となりました。



博多区

美野島地区

新型コロナウイルスに対応した避難所開設訓練

公民館を会場に、「新型コロナウイルス感染症対応避難所開設訓練」と題し、コロナ禍で大規模地震が発生した後に、多数の避難者が集まった状況を想定した防災訓練を実施しました。

第一薬科大学の講師から知識・技術を学んだ防災委員が、フェイスシールドや防護服等を着用して、受入手順や誘導方法を確認するとともに、収容避難所となる住吉小・中学校の正確な図面を用いて区割りや動線を確認しました。

今後も強く感染リスクを意識し、自助共助としての災害時の感染症対策に取り組んでいきます。



中央区

高宮校区

あかりでエールを! ~灯ろうでまちにほっとな明かりをともそう~

「こんな時だからこそ、ゆったりとしたひと時を過ごし、元気を出して行こう!」「医療従事者や関係者の皆様への感謝の気持ちを伝えたい!」との思いをカタチにと、校区社会福祉協議会が企画しました。はじめての試みで、しかも多くの人が集まれないという状況でしたが、直径50cmの蓮の花をかたどった大きなものや、高宮小の子どもたちが思いを込めた「一言」を記したものなど、約700個の灯ろうを手作りしました。

開催期間中は、校区のみなさんを優しい明かりで包み、静かにゆったりと、癒しの時間を過ごしていただくことができました。



南区

塩原校区

しおばる・しみず散歩 ～3密からNO密へ～

コロナ禍でも、体を動かす習慣をつけてもらおうと「しおばる・しみず散歩」を企画しました。11月の1か月間にわたって、校区のいろいろな所を一人で、いつでも、距離・速さ・回数を競わずに「散歩して楽しんじゃおう!」というもので、ポイント制による数値化により、自分のペースでの目標作りもできます。

約200名の参加があり、校区について再発見してもらったよい機会にもなりました。この感染症をじっとしてやり過ごすのではなく、しなやかにそしてしたたかに乗り切っていくことにチャレンジしていきたいものです。



城南区

別府校区

ZOOMの使い方講座

コロナ禍でも地域活動自体が衰退しないように、男女共同参画協議会で、非対面形式で対話ができるオンライン会議アプリ「ZOOM」の使い方講座を開催しました。

公民館に集まり、まずは自分のスマートフォンからオンライン会議に参加する方法、実際にZOOMを通して会話する方法などを学び、次に、学んだスキルを活かして、自宅からオンライン上に集まって会議を行いました。さらに、新年のあいさつ会をZOOMで開催し、各種団体の長が参加しました。実際に集まることが難しい状況でもオンラインならできることが分かりました。



早良区

百道校区

ハロウィンウォークラリー&最強クイズ王 in ルミナリエ

10月31日、ハロウィンウォークラリー及び最強クイズ王inルミナリエを開催しました。何か校区住民が安全に楽しめることができないだろうかと考え、きめ細かい感染症対策を施したイベントを企画しました。当日は晴天に恵まれ、ウォークラリーには家族連れなど200名、クイズ王には小学生80名が参加。

ウォークラリーに参加した家族からは「仮装してのラリーは楽しかった。また企画してほしい」との感想をいただきました。また、クイズ王に参加した小学生は、人との距離の確保などのルールを守りながらクイズに熱中し、大盛り上がりでした。



西区

西陵校区

心和む夕涼みコンサート

8月に自治協議会主催の「夕涼みコンサート」を開催しました。自治協役員や公民館職員で感染症対策について何度も話し合い、公民館の講堂と広場を会場とし、来館者のマスク着用、入館時の手指消毒、館内常時換気、観客同士の距離の確保などを徹底することにより、開催することができました。

当日は、ピアノ奏者の久保田正子さんとフルート奏者の柴田有紀さんによる二重奏やそれぞれの独奏、観客も参加した四重奏など、あっという間の1時間となりました。夕暮れ時の生演奏は、参加者の心にひと時の安らぎをもたらしたことでしょう。



お問合せ・地域の情報などは、各区役所「地域支援課」まで

東区 Tel 092-645-1041 Fax 092-645-1042 中央区 Tel 092-718-1062 Fax 092-714-2141
博多区 Tel 092-419-1048 Fax 092-434-0053 南区 Tel 092-559-5072 Fax 092-562-3824

城南区 Tel 092-833-4063 Fax 092-822-2142

早良区 Tel 092-833-4416 Fax 092-851-2680

西区 Tel 092-895-7036 Fax 092-882-2137